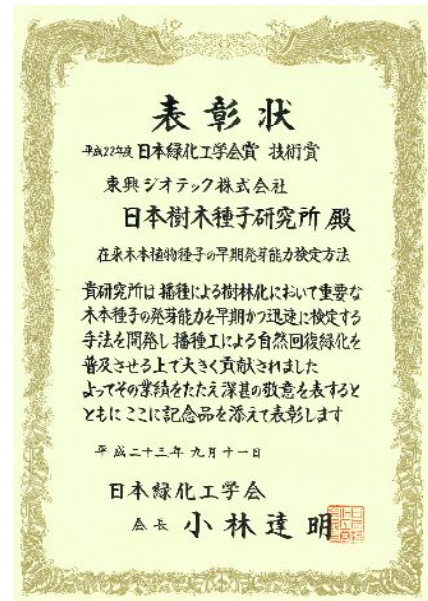


## 日本緑化工学会賞技術賞を受賞しました！

斜面樹林化工法で使用する国内産自生種木本種子の品質検定に採用している「早期発芽力検定法」(NETIS:KT-060003-A)が日本緑化工学会で評価され、この検定技術を開発した東興ジオテック株式会社日本樹木種子研究所が平成22年度日本緑化工学会賞技術賞に輝き、2011年9月11日に千葉大学において表彰されました。

【受賞対象】 在来木本植物種子の早期発芽能力  
検定方法

【受賞理由】 播種による樹林化において重要な  
木本種子の発芽能力を早期かつ迅速に  
検定する手法を開発し、播種工による  
自然回復緑化を普及させる上で大きく  
貢献した。



早期発芽力検定法とは

早期発芽力検定法は、木本植物種子の発芽率を種子休眠の有無に左右されることなく1週間内外で検定することが可能な画期的な種子品質検査手法です。

この方法で得られる早期発芽力検定値と発芽率の相関は非常に高く、発芽率の変動が大きい木本植物種子の発芽率を施工前に短期間で確認できるので、設計や施工の品質管理の精度を大きく向上させることができます。



従来の発芽試験との比較写真

